

# ひょうご産業活性化センター

兵庫県の「プロフェッショナル人材事業（プロ人材事業）」が成果を上げている。企業の「攻めの経営」を支援して地域を盛り立て、地方創生を先導している。今や人材の確保や育成は経営最大の課題となっている。専門資格や技能、経験を持つプロ人材を的確にマッチングする同事業が評価されるゆえんだ。

PR

# 人材戦略で地方創生



## 2年で70人のプロ人材採用

人材会社や金融機関と連携し、プロ人材の採用を支援するため、兵庫県プロフェッショナル人材戦略拠点「ひょうご専門人材相談センター」では亀井芳郎戦略マネージャーらが経営相談や人材ニーズの掘り起こしにあたる。一般的な人材紹介のほか、ダイレクトリクルーティングやワークシェアリング（顧問型）を推進、この2年で70件の成約実績を誇る。

「It's BANSHU-ORI」をさまざまなシーンで展開



国内先染織物の7割のシェアを誇る。自然な風合いや豊富な色彩が特徴で、海外有名ブランドがこぞ採用、世界の評価は高い。が、生産量は厳しい価格競争などからピーク時の1割弱にとどまる。需要拡大が至急の課題だ。

「産地」一体で盛り上げが仕掛けが必要。認知度が上がればモチベーションも上がる」と堀口氏は明快だ。まずは今春からギンガムチェックをモチーフに用いたメッセージデザイン「It's BANSHU-ORI」を使い、播州織の存在感を打ち出す計画。これまでになかったPR手法で期待が高まっている。並行して「売れる商品開発の提案、バイヤーやデザイナーへの働きかけなどでテキスタイルと商品両面で販路開拓を積極化する」考えだ。

「ファッション都市構想」の推進、工場跡地を活用した「播州織工房館」の活性化など産地の機運が高まっている。播州織の新しいステージに

## 「播州織」、デザイナー採用

## メッセージデザインで存在感訴求

州織」の活性化だ。ファッション界で豊富な実績を持つグラフィックデザイナーの堀口秀司氏を西インターア雑貨など広く使われる身近な素材」と堀口氏は大きな魅力とポテンシャルを感じている。播州織は兵庫県西脇市を中心を生産される綿織物で、200年以上の歴史を持つ。糸を先に染め「先染織物」

が上ればモチベーションも上がる」と堀口氏は明快だ。まずは今春からギンガムチェックをモチーフに用いたメッセージデザイン「It's BANSHU-ORI」を使い、播州織の存在感を打ち出す計画。これまでになかったPR手法で期待が高まっている。並行して「売れる商品開発の提案、バイヤーやデザイナーへの働きかけなどでテキスタイルと商品両面で販路開拓を積極化する」考えだ。

兵庫県プロフェッショナル人材戦略拠点  
**亀井 芳郎**  
戦略マネージャー



プロ人材事業は中小企業や地場産業が不得手なマネジメント人材の採用や活用を支援し、産業振興を図る

「攻めの経営」を支援

事業です。ニーズに沿った的確なマッチングで高く評価されています。播州織の振興では、認知度向上や販路開拓、商品開発の経営」を強力に支援し

播州織産元協同組合  
**棚倉 和久** 理事長



播州織という高品質な素材の認知度向上を目指し、産地は盛り上がりつつあります。産地挙げての活性化や

## 新鮮さに期待

消費者への普及促進を目指す。的確に経営戦略へと形にした取り組みは行ってこなかつただけに、メッセージデザインの新鮮さに大きな期待を寄せています。アパレル業界での豊富な経験と実績で、我々の願いや思い

## メッセージ

中小企業の皆さん  
**「プロ人材」**  
足りてますか？

- 将来の事業承継も視野に入れた経営の右腕がほしい
- 新しい製品・商品を営業してくれる人がほしい
- 新工場・新ラインの稼働を任せられる人がほしい



お問い合わせはこちら